

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	行動文化情報学専攻 地理学・地域観光学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、外国人留学生入学試験 (RJ 方式)
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日 (試験日) /Exam Date	2025 年 9 月 6 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>専門科目の出題意図は、地理学または地域観光学において重要な特定の概念や事柄に関する学術的な知識・視点・論点を問うことで、学士課程修了レベルの関連する知識や、明確な問題意識のあり方について確認することである。</p> <p>設問 I～IIIはいずれも論述問題であり、採点時には、上述の地理学または地域観光学において重要な特定の概念や事柄に関する学術的な知識・視点・論点について、適切に論じることができているかどうかを見定めている。</p> <p>設問ごとの採点時の観点としては、Iでは、地図に関して、当該用語を学術的に説明できるか、さらには地理学または地域観光学の重要な論点を適切に示せるかを確かめた。IIでは、集落に関して、当該用語を学術的に説明できるか、さらには地理学または地域観光学の重要な論点を適切に示せるかを確かめた。IIIでは、「中心業務地区」もしくは「ジオパーク」に関して、その内容を十分に説明したうえで、地理学または地域観光学の視点からの考察のあり方を適切に示せるかを確かめた。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	行動文化情報学専攻 地理学・地域観光学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	外国語科目（英語）
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
出題の意図・解答 I 19世紀後半から現在までの、環境決定論、可能論、地域地理学、計量革命、行動地理学、人文主義地理学、マルクス主義地理学、ポスト構造主義、応用地理学、GIS などといった人文地理学の理論的変遷を理解しているかを問うている。 最近の地理学史の代表的教科書の英語テキストを材料に、人文地理学の専門的概念を英語から正確に訳せるかを確認し、各アプローチに対応する代表的地理学者（例：Ratzel、Vidal de la Blache、Sauer、Berry、Harvey、Goodchild など）を結びつけることで、人文地理学の理論的発展（パラダイムの変遷）を理解し、英語文献を読解しながら、そのアプローチと代表的地理学者を結び付けて説明できるかを問う問題である。アプローチと代表的地理学者の対応は以下のとおりである。 ①ーか ②ーさ ③ーき ④ーえ ⑤ーあ ⑥ーい ⑦ーこ ⑧ーお ⑨ーく ⑩ーけ ⑪ーし ⑫ーう II 地理学・地域観光学におけるネオ古典的な基本文献のひとつからナイアガラ滝の事例とした文章を抜粋し、「観光の経験」に関する理解度および英文の読解能力について問うた問題である。Iとあわせて英文全体を試験時間内で正確に読み、その内容を日本語と英語で解答することができるかを試した。 (1) 本文の鍵となる重要な語句として、適切な単語を選択できるか試した。 (2)・(3)・(5)・(6) 英文の内容と文脈を理解し、日本語で適切に訳出できるか試した。 (4) 前後の文も踏まえて、英文の内容と文脈を理解し、適切な語句を解答できるか試した。	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	行動文化情報学専攻 地理学・地域観光学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、外国人留学生入学試験 (RJ 方式)
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日 (試験日) /Exam Date	2026 年 2 月 8 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>専門科目の出題意図は、地理学または地域観光学において重要な特定の概念や事柄に関する学術的な知識・視点・論点を問うことで、学士課程修了レベルの関連する知識や、広い視野と明確な問題意識のあり方について確認することである。</p> <p>設問Ⅰ～Ⅲはいずれも論述問題であり、採点時には、上述の地理学または地域観光学において重要な特定の概念や事柄に関する学術的な知識・視点・論点について、適切に論じることができているかどうかを見定めている。</p> <p>設問ごとの採点時の観点として、Ⅰでは、「バージェスの同心円理論」・「バトラーの観光地の発展周期」について、その理論を理解しているか、そして自らの研究への応用について具体的な説明ができるのかを問うた。いずれの理論・モデルも、地理学・地域観光学を学ぶものについては、基本的な知識である。Ⅱでは、フィールドワークに関する専門用語（非構造化インタビュー、参与観察、ラポール）を的確に説明できるのかという基礎的知識を確認するとともに、地理学または地域観光学の研究方法としての学術的意義やその歴史的諸相、あるいは受験者自身の研究方法としての位置づけ・関係性など、幅広い文脈から、それらの用語を用いた適切な論述ができているのかを確認した。Ⅲでは、江戸時代後期に刊行され、諸国の名所旧跡・景勝地の由緒や、各地の交通事情を記し、写実的な風景画を添えた書物である「名所図会」、および様々な災害の様相および対策を地図化したものである「ハザードマップ」について、その基本的理解にもとづく論理的説明ができているか、さらには地理学または地域観光学の重要な論点を適切に示せるのかを重視した。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	行動文化情報学専攻 地理学・地域観光学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	外国語科目（英語）
実施日（試験日） /Exam Date	2026年2月8日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
出題の意図・解答 I 地理学史における重要な転回ないし画期（パラダイム・シフト）のひとつに数えられる「空間科学」の展開について、その理解度および英文の読解能力について問うた。英語圏における学部生レベルの教科書として執筆された図書を出典とした。英文全体を試験時間内で正確に読み、その内容を日本語ないし英単語で解答することができるかを試した。 (1) 本文の鍵となる重要な語句として、適切な単語を解答できるかを試した。 (2) 英文の内容と文脈を正確に理解し、学史にその名を残す適切な人物を選択できるかを試した。 (3) 中心地理論に関する英文の内容を理解し、日本語で適切に訳出できるかを試した。 (4) 前後の文も踏まえて、英文の内容と文脈を理解し、日本語で適切に訳出できるかを試した。 (5) 時間地理学に関する英文の内容と文脈を理解し、日本語で適切に要約できるかを試した。 II 受験生自身の修士論文を題材にして、英語表現能力を試した。	